

にし の まち から レポ

西東京・生活者ネットワーク

TEL 042-453-4121

FAX / 042-410-0014

E-mail / nishitokyo@seikatsusha.net

http://nishitokyo.seikatsusha.me/

No.107



政治をもっと、身近なものに。

政治を遠くにある手の届かないものではなく、誰もが身近なものとして関われば、と思っています。一人ひとりの生活の中から生まれた実感をきちんと政治につなげ、社会全体を良いものにしていくこと。これが私たちの望みです。



発行日 / 2021年1月5日

発行責任者 / 武田 幸

市議会議員 ● 後藤 ゆう子

市議会議員 ● かとう 涼子

〒202-0015 西東京市保谷町6-25-1-102

TEL 042-453-4121

「市民に聞く」姿勢を貫くリーダーを！ 生活者ネットワークが考える「市長」

「ネットが考える「市長」は、まちづくりのビジョンを持ち、行政職員とそのビジョンを共有し、実現のために合意を高める努力をする人であり、そのために強いリーダーシップを発揮する人です。同時に、その政治姿勢は市民に軸足を置いたものでなくてはなりません。」

これは、生活者ネットワークが2008年に示した基本的な考え方です。13年経った現在も変わりはありません。

まちづくり懇談会を開催 ——平井竜一さんと共に

今年2月に西東京市では市長選が行われます。それに先立つ昨年11月29日、コールド田無にてまちづくり懇談会を開催しました。コロナ禍の中、慎重に準備を進め、熱い思いを抱えた定員いっぱいの人数が集まりました。元逗子市長の平井竜一さんも参加して、懇談会は大いに盛り上がりしました。



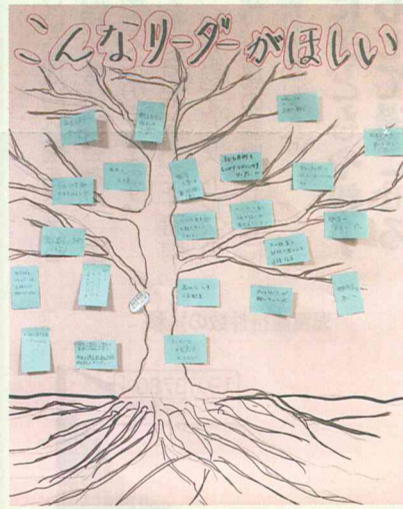
こんなリーダーが欲しい！

懇談会に参加した市民は、子育て支援に取り組む人、介護現場で働く人、子ども食堂のスタッフ、都市農地の保全に取り組む市民など地域で活動をする人ばかり。日頃の活動の中で感じた地域の課題を出し合ううちに、「西東京市をこんなまちにしたい」「こんなリーダーが欲しい」のイメージがどんどんふくらんでいきました。

完成した「政策の木」(写真)には、「緊急時の子どもの食の確保を」「住宅地に農地が共存するまちへ」「情報開示を第一に」「市民との協働をすすめるリーダー」「子ども条例をしっかりと使いこなすリーダー」など、たくさんの思いが込められました。

対話の中から政策が生まれる

参加者の声に応え、12年の市長経験をもつ平井さんからは「行政の情報には市民のもの。情報公開を徹底しないと民主主義は始まらない」「コロナ対策として国や都がやらないところ、漏



「みんなで作った政策の木。懇談会で出た思いのエッセンスを付箋に書き込みました」

れてしまうところをやるのが基礎自治体のあるべき姿」「目的達成のためには、市役所の人事が重要」「教育と福祉をもっと連携させるべき」などが語られ、議論は大いに弾みました。私たちが待ち望んでいたのは、市民との対話を政治に生かしてくれるリーダーなのだ改めて実感した懇談会でした。

西東京市のまちづくりをどう描き、実現していくかは、市長のリーダーシップのもと、市民と行政がどれだけ信頼関係を築き協働できるかにかかっています。生活者ネットワークは、今までもこれからも変わらず、「市民に聞く」姿勢を貫くリーダーを支持していきます。

「西東京市のマスクの備蓄の少なさに驚いた」「市のホームページの情報が分

日頃の基礎づくりが緊急時に役立つ

災害時における地域の支え合いが期待される住民自治組織「地域協力ネットワーク」を知っている人、活動に関わっている人は53%とほぼ半数。「参加したい」との回答も9%ありました。

災害時の在宅避難について

87%の人が避難所ではなく「自宅ですぐ」と回答しました。コロナ禍での感染リスクを避ける意識が高まっています。一方で、在宅避難を選んだ人にも必要な情報や食料、生活物資が届くようにしてほしいとの意見が多数ありました。

新型コロナウイルス感染症について

生活者ネットワークが毎年実施している「ひごと提案」アンケート。全部で123通の回答をいただきました。

「ひごと提案」ありがとうございました！

平井竜一さんと政策協定を締結しました

2021年2月7日に執行される西東京市長選挙にあたり、西東京・生活者ネットワークは、候補予定者・平井竜一さんと政策協定書を締結し、推薦を決定しました。



1. 市民の政策提案を支援し、協働によるまちの活性化に取り組む
2. リーダーシップを発揮し、市民の求める新型コロナウイルス対策を実施する
3. 人権を尊重し、誰もが自分らしく暮らせるまちをつくる
4. 子ども条例を推進し、子ども参加を具体化する
5. 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築と、ケアラー支援に取り組む
6. 給食への地場産農産物導入を増やし、食の安全と都市農業を守る

政策の実現に向け、私たちは共に全力を尽くします。

西東京・生活者ネットの活動を報告します。

図2 西東京地域協力ネットワークについて

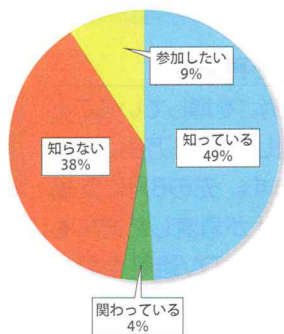
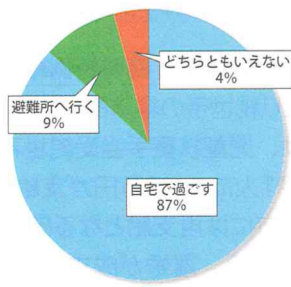


図1 災害時の避難場所について



「コロナ禍でも災害時でも、私たちが民が求めるものは安全な衣食住、明確な情報、支え合う人間関係に尽きます。日頃からこうした基礎づくりにコツコツ取り組む自治体こそが、いざという時にも力を発揮できる、そのことを実感させられた「コロナ禍」でした。生活者ネットワークは、市民の求める情報発信、活動する市民への支援、だれひとり取りこぼすことのない対応を、市に対し引き続き求めてまいります。」